※令和３年度以前入学生用

学校番号	3021

令和５年度　国語科

教科	国語科	科目	国語表現	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	国語表現　改訂版（大修館書店）						
副教材等	パスポート国語必携　国語常識の演習と確認<四訂版>　（桐原書店） 巻頭増補版　最新国語便覧　（浜島書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

内容は文章表現法の習熟に重点を置いたものとなります。国語を使って表現する（書く・話す）力を養う科目です。

座学というより自分の考えをまとめ、はっきりと相手に伝えるためのさまざまな表現（文章、スピーチ、発表、討論、レポート等）を全般的に実践します。

また、効果的な表現、論理的思考力、独創的発想力、資料を整理し活用する力といったことも学習します。

長い文章を書くことや人前で発表すること、物事を深く考えることや他人と議論することに対して意欲的に取り組んでください。

２　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

（１）自分の進路を見据え、実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。

（２）論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

（３）国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、言語感覚を磨く。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話し的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えを深め、発展させている。	相手や目的、意図に応じた適切かつ効果的な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。		言葉の特徴やきまり、役割などについての理解を深め、知識を身に付けている。
評価方法	授業態度	授業態度 発表 グループ活動	定期考査 ワークシート		定期考査 ワークシート 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
一学期	1. 書いて伝える	1. レッスン1 整った文を書く 1. レッスン2 わかりやすい文を書く 1. レッスン3 文のつなぎ方 1. レッスン4 絵や写真を見て書く	○		◎		○	a:優れた文章を読み、平易な文章を書く基礎を学ぼうとしている。 c:主語のねじれがなく、適切な文の表現ができている。 e:豊かな語彙力を身につけ、適切な表現を理解している。	a:授業態度 c:ワークシートおよび定期考査 e:ワークシートおよび小テスト
	2. 小論文・レポート入門	2. レッスン1 小論文とは何か 2. レッスン2 反論を想定して書く 2. レッスン3 文章を読み取って書く 2. レッスン4 統計資料を読み取って書く	○				○	a:さまざまな種類の小論文の構造を知ろうとしている。 e:豊かな語彙力を身につけ、適切な表現を理解している。	a:授業態度 e:ワークシートおよび定期考査
	2. 小論文・レポート入門／4. メディアを駆使する	4. レッスン3 ネット社会と コミュニケーション 4. レッスン4 メディアと情報 2. レッスン6 レポートを書く	○		◎		○	a:情報社会に生きる者として情報リテラシーを積極的に学ぼうとしている。 c:様々なテーマのレポートを発想を広げながら書くことができる。また適切に情報を吟味し使用できている。 e:豊かな語彙力を身につけ、適切な表現を理解している。	a:授業態度 c:ワークシートおよび定期考査 e:ワークシートおよび小テスト

※令和３年度以前入学生用

二学期	3．自己PRと面接／5．声とコミュニケーション	5．レッスン1 言葉のストレッチ体操 5．レッスン2 リーダーズシアターを開こう 5．レッスン3 ショートスピーチをしよう 3．レッスン1 自分を見つめて 3．レッスン2 効果的な自己 PR 3．レッスン3 将来の自分を考えよう 3．レッスン4 志望動機をまとめよう 3．レッスン5 面接にチャレンジ	○	◎	○		○	a：自分の言葉を他人に伝えようとしている。また、自己の長所について考えようとしている。 b：自己について適切な言葉で他人に話をしたりすることができ、他人の言葉に耳を傾け、理解することができている。 c：自分の意見を知り、それを伝えられるように構成を意識して記述できている。 e：表現技法や表現の特色、伝える対象により、語彙がことなることを理解している。	a:授業態度 b:発表およびグループ活動 c:ワークシートおよび定期考査 e:ワークシートおよび小テスト
	6．会話・議論・発表／Ⅱ表現を楽しむ	6．レッスン1 相手や場面に応じた会話 6．レッスン2 建設的な議論の進め方 Ⅱ．10 演説合戦にチャレンジ	○	◎	○		○	a：自分の意見を他人に伝えようとしている。また、他者の意見を聞き、それを踏まえて意見を再構築しようとしている。 b：建設的な議論をしようとし、感情的ではない論理的な意見で話し合っている。また、自分の意見がわかりやすく伝わるように具体的な根拠を示して話している。 c：演説の内容を要点よくメモすることができている。 e：文章表現や接続の仕方によって内容の伝わり方が異なることを理解している。	a:授業態度 b:発表およびグループ活動 c:ワークシート e:ワークシート
三学期	6．会話・議論・発表／Ⅱ表現を楽しむ	Ⅱ．4 「わが町自慢」の パンフレット作り 6．レッスン3 プレゼンテーションの工夫	○	◎	◎		○	a：パンフレットに関する構成や必要事項を積極的に調べ、学ぼうとしている。 b：印象が強く残るように、情報の強弱を意識して話すことができている。 c：情報がより伝わりやすいように、限られた範囲内に簡潔かつ濃く情報を載せることができている。 e：文章表現以外にも配色や写真といった視覚的な効果についても理解している。	a:授業態度 b:発表およびグループ活動 c:ワークシート e:ワークシート

※令和３年度以前入学生用

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置づけて〇印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。